回覧

「石神台ガーディアン」2019年3月報告

2019（平成31）年3月22日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
編集者　小野修司

1） 団員数

昼間合同巡回実施者：	３０名
夜間合同巡回実施者：	２５名
青パト巡回実施者：（同乗者を含む）	３名
以上のどれかの巡回をしている人数：	５５名

個人的に巡回している方や活動に協力して頂いている方を含めた登録者は125名です。

2） 2月16日～3月15日の巡回実施状況

✓ **合同歩行パトロール （自分の住む丁目を中心に実施）**

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
１丁目	３日	２６名	８日	２９名
２丁目	６日	３０名		３４名
３丁目	６日	１３名		２３名
全体	１５日	６９名		８６名

３月に入ってようやく暖かくなり夜の巡回も少し楽になりました。三寒四温というのでしょうね。
菜種梅雨という言葉もありますが、今月は2回も雨の為に中止になり8日でした。
また、杉花粉が多く飛ぶようになり花粉症の方にとっては受難な季節になりました。

✓ **青色回転灯装着車によるパトロール　（石神台内を現在は2台の登録車で随時実施）**

３月度：実施車両数：２台　実施回数：１４回
延べ走行時間：１０時間４０分　　走行距離：９２．５km
※早急に青パトを増やす必要が出てきました。同乗者も含めて青パトをやって頂ける方を募集します。宜しくお願い致します。

3） 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間８日間			取りあえず９０％を目標にしていますので住民の皆様に更にご協力をお願いいたします。
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	
１丁目	２６ 台	２５台	９６．２％	
２丁目	８台	７台	８７．５％	
３丁目	７台	７台	１００．０％	
全体	４１台	３９台	９５．１％	

2ヶ月連続で90％を達成。95％は過去最高の実績となりました。
駐車台数も非常に少なくなり、住民がルールとマナーを守るようになった結果だと思います。
引き続いて皆さんの協力をお願いします。

4）ガーディアンの気持ち…

今年は私の記憶にないほどの暖冬だったように思います。最近は朝が明けるのが早く気持ちも明るくなります。ただ、花粉症の方にはつらい季節かも知れません。

さて、私は一昨年の夏より毎朝東公園でラジオ体操をしていますが、先日お仲間の方から新聞のコラムを頂き、なるほどいいアイデアだ、と思いましたのでその記事をご紹介したいと思います。

「犬の飼い主が散歩中、路上にフンを残して立ち去る現場を見たことがない、それなのに日々フンを見かけるのはなぜなのか？そんな長年の疑問を京都宇治市役所の方が良いアイデアで対策案を編み出した。

やり方は簡単。落とし物を見つけたら敢えて回収せず、黄色いチョークで路面に印をつける。丸でも矢印でもいい。発見した日時を書き添える。駐車違反の車に警官がチョークで印をつけるのを見て着想したそうだ。半年もしないうちに路上のフンは激減。苦情もほぼなくなった。「後始末は飼い主の責任」といった看板より1本のチョークの方が効果があった。落とし物は深夜と早朝に集中していたが、『誰かに見られている』そんな心理が働いて不始末が激減したそうだ。併せて空き缶やゴミ、吸い殻の投げ捨てもなくなった。

たった1本のチョークの線がかくも劇的な効果を人々の心理に及ぼすとは。フンの見当たらない宇治の街を歩きながら人間心理の妙を思った。」

以上のような内容でしたが、この記事はとても印象に残るものでした。　（「リンゴの独り言」さんより）

5）大磯警察より

＊今月は特に大きな事件はありませんでしたが、相変わらず、特殊詐欺の電話がかかってきているようです。大磯警察管内ではありませんが、新聞やテレビの報道では「アポ電」詐欺と言って事前にお金があるかどうかを確認して、自宅に押し入って強盗に及ぶ、といった詐欺が流行り出しました。

＊警察でも町でもあらゆる面から、例えば防災無線で、年金支払い日に金融機関で、スーパーや駅などで注意を呼び掛けています。

＊また27日の交番の日にも巡回の前に大磯警察から、特殊詐欺についての話があります。是非皆さん私は大丈夫、と思わないで日頃から詐欺に掛からない準備をしましょう。

6）今月のイベント

今月27日は交番の日で、大磯警察、自治会、子供達、そしてガーディアンの団員と合同パトロールをします。交番の日の合同パトロールは年に3回になりましたので是非、みんなで巡回しましょう。

7）佐藤登さん御逝去

ガーディアン発足以来の団員の佐藤さんが3月17日に逝去されました。
写真やハーモニカが得意でガーディアンや自治会行事では大変活躍されてお世話になりました。
ご冥福をお祈りいたします。

8）編集部より

＊何方か「ガーディアンの気持ち」を書いてくれませんか？題材はどんなことでも構いません。
実名でも匿名でもペンネームでも何でも構いません。

挨拶で犯罪なくそう石神台

９）番外・付録・雑学・おまけ…金剛寺住職　山本英照氏の言葉より

今回はガーディアン初代代表の高橋是氏から送られてきたメールの添付資料より金剛寺住職山本英照住職の文章をお届けします。

“楽して見つかる「自分らしさ」はどこにもなかぞ”

ある中学校の３年生に「命について」という題目で講演し、現実的な話を投げかけました。今世間では、運動会で順番を決めるなとか、成績表を張り出すなとか、親が学校側に文句を言ってくるから、そうしている所が多いと聞きますが、とんでもない話です。

—「君たちな、社会に出たら、いやが上にも競争社会が待ってんだ。学生時代の切磋琢磨して、少しでも免疫を付けておかんと大変なことになる。「これはしたくない」「ああ、せんでいいよ」「これ食べたくない」「ああ、たべんでいいよ」と我慢させずに育てられてきた子供がいきなり競争社会に出て行くもんだから一年ももたずに会社を辞める若者が急増していると。いい大学を出たってその大学の名前が通じるのは一瞬のこと、あとは実力の世界。会社に利益をもたらさない人に給料をくれるお人よしの社長さんなど、どこにもいないよ。学生時代に少しでも経験し、勉強しておかないかん一。

人間基本、今が楽で、今が幸せで、今ご飯食べられたら、必要以上の努力をせんもんです。そこで向学心が持てるかどうかが、後になって、大きな差となっていくんです。読書をする親の元で育った子は読書をします。嘘をつく親の元で育った子は平気でうそをつくようになり、金遣いの荒い親の元で育った子供は自然と金遣いが荒くなりますもんな。最近中学校の運動会で近所の人が「うるさい！」と文句を言ってくるため、応援合戦をしない所があるそうです。ご自分が子育てをしている最中は、声を張り上げて応援してたんじゃなかとですかいな。子供達を取り巻く環境を眺めた時、どうも由々しき問題がありますが子供の人格形成は間違いなく家庭の中で育って行きますね。親の姿勢が与える影響は計り知れんものがありますばい。　（山本英照先生の書下ろしより）